

私は 2024 年から芝刈り作業の請負を始め、2024 年 7 月の記事(下記PDF)でご紹介しました。未だ件数は少ないのですが、芝刈り作業の今後の対応として傾向となりそうな状況がありましたのでご紹介します。

センターの芝刈り作業は次のような経過がありました。(推測を含む)

- ①センターに電動芝刈機(今は老朽化で使用不可)があり、かつては機械が有れば仕事を受注できた。
- ②しかし、ホームセンターで販売の家庭用の電動芝刈機が普及し、仕事が激減。



超高齢化時代の近年は、電動芝刈機を保有のお客様より受注(推測を含む)

- ①体力の低下で、電動芝刈機が使えない。
- ②加えて、お庭のお手伝い対応(芝刈り+お手伝い)で受注拡大

例えば、やや重たい植木鉢の配置替え(仕事として対応)。他にお庭の清掃？

シルバー人材センター側も高齢者であり、現場確認時にお手伝いの内容を良く確認する必要あり。(繁忙の植木班、草取班がやらない仕事のお手伝い)

今後、芝刈り作業を継続し、具体的な対応内容を整理してご提案に繋がりたいと考えます。受注拡大すれば電動芝刈機を保有する会員と共に班を作る等への期待あり。

文・PDF 資料：西尾 三男

会員の皆様からの声 「就業現場だより-芝刈り作業」2024.7



私の仕事のキャリアは 2022 年春迄5年間、老人ホームの庭の管理(主に芝生の手入れ、草取り、他庭全般)を経験。現在は 2023 年10月のホームページ(<https://gyodasc.or.jp>)に掲載の「就業現場だより」で紹介した工場敷地内の環境整備(主に草取り、草刈りや庭木の枝処理等)の仕事を継続中。(週3回 3時間程度の仕事)



6月に市民の方の庭の芝刈りの仕事を請負いましたのでご紹介します。主な道具として電動芝刈機、電動バリカンや芝用ハサミを使用します。



仕事は庭木の根本、段差やコーナー部等をバリカンやハサミで芝刈り。広い場所は芝刈機で作業をします。適切に道具を使い、丁寧な作業を心がけます。刈った芝は熊手等で集め、廃棄袋に詰めて焼却処分。

芝生の手入れには芝刈りの他に、除草、水遣り、施肥、サッチ取り(芝の枯葉等)、穴あけ(通気、水はけ)、整地(目土で凹凸を修正)、芝生張り等の仕事があり、老人ホームでの経験が生かせると考えています。

尚、以下に芝刈りの作業場所の例をご参考までに示します。



「庭木が多い芝生」 「段差やコーナーがある芝生」 「段差や庭木がある芝生」